

日吉学特別企画

キャンパスの戦争 ～日吉台地下壕見学会



講師：阿久澤 武史

1988年慶應義塾大学文学部国文学専攻卒業。90年同大学院文学研究科修士課程修了。同年より高等学校教諭、2022年より校長。教養研究センター所員、福澤諭吉記念慶應義塾史展示館所員、日吉台地下壕保存の会会長。著書に『キャンパスの戦争—慶應日吉1934—1949』（慶應義塾大学出版会）、共著に『日吉台地下壕—大学と戦争』（高文研）がある。

拙著『キャンパスの戦争—慶應日吉1934—1949』（慶應義塾大学出版会）は、日吉キャンパスの開校からアジア・太平洋戦争を経て、米軍による接收が解除されるまでの15年間を見つめたものです。

旧制大学予科の「理想的学園」は、戦争の時代に巻き込まれ、特攻に象徴される絶望的な作戦を立案し指令する場になりました。第一校舎（現在の塾高校舎）には海軍の軍司令部第三部が、寄宿舍には連合艦隊司令部が入り、地下には巨大な軍事施設が作られました。

ここでいったい何があったのか。激動の15年を振り返りながら、私たちの足元に眠る戦争遺跡（連合艦隊司令部地下壕）を、皆さんと一緒に歩きたいと思います。



対象：慶應義塾大学学部生・大学院生・教職員

定員：60名（先着順 定員になり次第締め切ります）

申込：事前申込制 URL または QR コードより申込

bit.ly/Hiyoshidai_Keio



10月17日（火）

16:30 ~ 18:00

日吉キャンパス来往舎
大会議室&地下壕

集合場所：来往舎大会議室

<参加者は各自ご用意ください>

○懐中電灯（スマホのライトは不可）

○歩きやすい靴（ゴム底の靴）

○マスク（壕内では着用のこと）

○参加費：500円（見学会冊子代など）

